

外観



1984年3月に竣工した名古屋鴻池ビルディング。地上14階・地下1階建てのオフィスビルで、名古屋市中心部の交通至便な場所に位置する。

改修前トイレ



男女トイレとも、和式便器が1ヶ所、洋式便器が1ヶ所ずつ設置されていた。大便器や小便器の洗浄、洗面器の水栓金具はすべて手動式。

女性トイレ 全体



使用されていないときは、大便器ブースの扉が15°の角度で止まるように設定。大便器ブースの内部が丸見えにならず、空き状況もひと目で確認できる。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面カウンターの奥にスペースを設け、パウダーコーナーとしても利用できるようにしている。カウンターの奥行きが450mmとコンパクトなので、鏡に近づいてお化粧直しができる。

男性トイレ 全体



白を基調に、ミディアムカラーの木目調パネルを組み合わせた温かみのある空間。洗面コーナーには、水濡れを心配せずに荷物を置くことができるツインデッキカウンターを採用。

男性トイレ 小便器コーナー



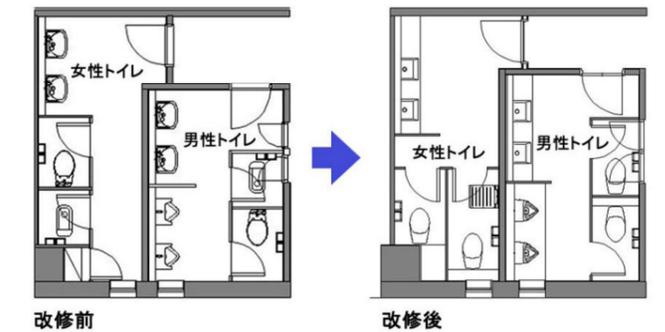
小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロテクトタイルを採用。

女性トイレ 大便器ブース



大便器ブースの1ヶ所には、ストッキングの履き替えなどができるフィッティングボードを設置。大便器後方の棚や紙巻器の上は、荷物置きとして利用できる。

トイレ図面



改修前

改修後

男女トイレとも和式便器をなくし、すべて洋式便器に変更。女性トイレは大便器ブースの位置を変更し、ゆとりあるスペースを確保している。

男性トイレ 大便器ブース



環境に配慮して、オート洗浄タイプの節水便器を採用。2度流しを防止するため、音姫(擬音装置)機能を搭載したウォッシュレットも設置している。

トイレサイン



設計者がデザインしたオリジナルのトイレサイン。

建築概要

名称	名古屋鴻池ビルディング
所在地	愛知県名古屋市中区錦2-19-1
施主	積水ハウス株式会社
設計	鴻池ビルテクノ株式会社
施工	株式会社鴻池組
竣工年月	(改修)2013年1月

水まわりの特長

<改修の経緯>

名古屋鴻池ビルディングは、地上14階・地下1階建てのオフィスビルで、1984年3月に竣工した。名古屋市中心部の地下鉄駅近くという、交通至便な場所に位置する。今回、テナントの満足度向上を目指してビル全体のリニューアル工事を実施。エレベーターや通路など共用部の内装をリニューアルし、ビルの正面玄関を自動ドアに更新。さらに、トイレも全面的に改修し、新たなオフィス空間として生まれ変わった。

<トイレの特長>

インテリアは白を基調に、ミディアムカラーの木目調パネルを組み合わせた温かみのある空間に一新した。大便器はすべて洋式便器を採用。さらに衛生面に配慮し大便器・小便器ともに自動洗浄タイプを採用し、洗面器にも自動水栓を設置している。また、節水タイプの大便器、2度流しを防止する音姫(擬音装置)機能搭載のウォッシュレット、人感センサー付きの照明の採用など環境にも配慮している。そのほか、洗面コーナーの一部にパウダーコーナーとして利用できるスペースを設けたり、ストッキングの履き替えや着替えができるように大便器ブースにフィッティングボードを設置するなど、女性に対する細やかな配慮も行っている。